東中学校だより

令和５年３月９日 第１３号
文責　校長　下　村　　治

学校教育目標　○進んで学ぶ生徒　○心豊かな生徒　○身体をきたえる生徒

３．１１　東日本大震災を忘れない

内閣府 HP 写真引用

今から１２年前、平成２３年３月 11 日午後２時 46 分頃に、三陸沖を震源とするマグニチュード 9.0、最大震度７の巨大地震が発生しました。その後に発生した津波の被害を含め、死者・行方不明者２万人以上という未曽有の大災害でした。亡くなられた方、被害にあわれた方に哀悼の意を表します。

災害に備えて日頃から準備をしておくことが大切です。学校でも避難訓練を実施しておりますが、ご家庭でも防災備品の準備、連絡方法の確認など話し合っておく必要があると思います。

震災後に「津波てんでんこ」という東北地方の言い伝えが注目されました。これは地震が起こったら津波が来るので各自ですぐに逃げろという教えです。自分の命は自分で守る「自助」という考えです。しかしこのことは、「自分さえ助かればよい」ということでなく、一人一人が逃げる姿を見て、地域全体の避難行動が促進される「共助」の教えでもあるといわれています。

3.11（東日本大震災）の教訓を忘れず、防災・減災そして命を守る意識を持ち続けましょう。

おがわ学の取組（山岡鉄舟と「忠七めし」を学ぶ、・ヤオコーの経営から学ぶ）

３年生は、「割烹旅館　二葉」さんのご厚意により、クラスごとに施設見学と日本五大名飯の「忠七めし」の会食を行いました。

当日は、社長の八木様から、文化財にも指定されている建物と、小川町にゆかりのある山岡鉄舟、そして忠七めしについて説明をいただきました。そののち、全員が秘伝の出汁をかけた「忠七めし」をいただきました。

また、３月７日には、ヤオコー小川店の店長、神保様においでいただき、社会科の授業を行いました。神保様には生徒から出される様々な質問に、具体的にお答えいただきました。

どちらも、卒業期を迎えた生徒にとって大変貴重な体験でした。関係した町の皆様に心から感謝申し上げます。

２学年の学習成果（「おがわ学」と関連付けた修学旅行のまとめ）

２年生は修学旅行で学んだ成果を「おがわ学」と関連付けながら（小川町は「小京都」と言われます）、一人一人がリーフレット形式でまとめ上げました。PC を活用したり、手描きの良さを生かしながらとても素晴らしい成果物が出来上がっています。現在、学習発表会を経て、廊下の壁面や教室に展示されています。

ご家庭に持ち帰った際は、もう一度この作品をもとに、思い出を語り合ってください。

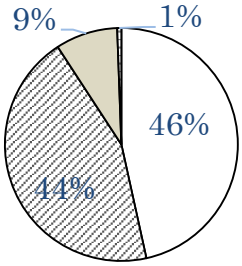
学校評価（保護者対象アンケート集計）について

前回の生徒アンケートに引き続き、保護者の皆様から頂いたアンケートの集計結果を報告いたします。

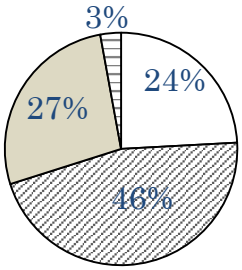
【アンケート結果】

（ そう思う　ややそう思う　あまりそう思わない　そう思わない）

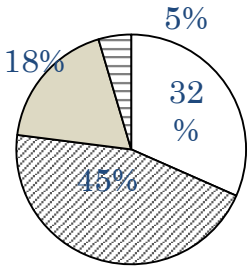
学校生活全般を通して、お子さんの学校生活は、充実していましたか。



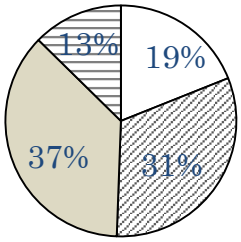
お子さんは、将来の夢や目標をもって学習や諸活動に取り組んでいますか。



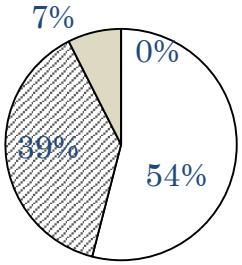
お子さんは、規則正しい生活習慣が定着していますか。



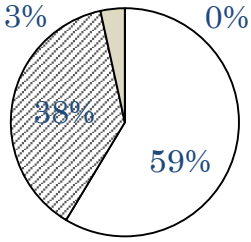
お子さん、毎日の家庭学習（塾は除く）が習慣になっていますか。



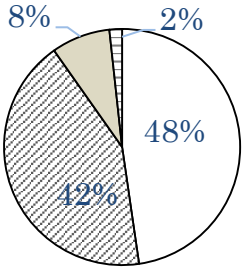
お子さんは、ルールやきまりを守っていますか。



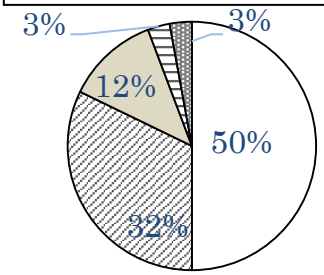
お子さんは、健康や安全に気を付けて生活をしていますか。



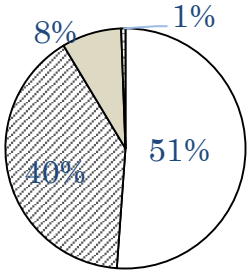
お子さんは、クラスや部活動、地域などで良好な人間関係が築かれていますか。



お子さんは、部活動に意欲的に取り組んでいると思いますか。（部活動加入者のみ回答）

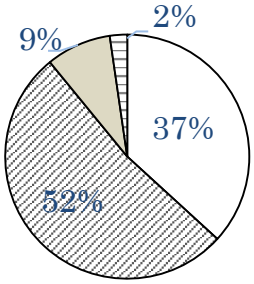


お子さんにとって学校行事は、楽しく充実していると思いますか。



本年度の全体的な傾向を「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合でみると、昨年度と概ね同じような傾向でした。

「そう思う」と答えた割合で昨年度と比較すると、「部活動に意欲的に参加している」が 17 ポイントの減、「必要な連絡や情報提供」が 8 ポイントの減でした。これは改善を図っていきたいと思います。一方、「家庭学習の習慣」は５ポイント上昇しています。ぜひここは伸ばしていきたいと思います。

これからも、学校と家庭が両輪となった教育の推進がなされるようご協力をお願いいたします。

学校は、家庭に必要な連絡や情報提供を行っていると思いますか。